

令和6年度栗野青果出荷組合のカンショ講習会が開催されました

3月7日（金）、銚田市借宿中央公民館において講習会が開催され、栗野青果出荷組合員6名とメーカー等合わせて計12名が参加しました。

当部門から、カンショを栽培した圃場及び苗床の土壌診断結果について報告したほか、カンショの茎葉処理機を試験した結果について報告しました。

参加した種苗メーカーからは、カンショの立枯病や「シルクスイート」の空洞症に係る試験結果について説明があり、白マルチは黒マルチより空洞症の発生率が低くなったことや、リビングマルチの施用により空洞症の発生率が低くなったことが報告されました（ただし、空洞症の発生は抑えられたが、収量が減少してしまったことに留意が必要）。

また、他の農薬・資材メーカーからは、センチュウ防除の農薬やバイオステイミュラント資材について情報提供があり、カンショの品質向上に繋がるような情報を得て充実した講習会になりました。

今後も当部門では、カンショの収益性向上に向けて、支援及び情報提供を行っていきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）